

高校生と市議 インタビュー

あきんどの取り組みを教えてください。

平成15年から始まった能商直営店あきんどうですが、今は北限の茶「檜山茶」を使った紅茶の商品開発を行っています。

まだイベントのみの販売ですが、手摘みや手揉みでつくられた紅茶（ひやま紅姫）はすぐに完売してしまうほど人気が出てきました。昨年は苦味があつたのですが、今年度は試行錯誤を重ね甘みを出すことに成功。発酵や乾燥はとても難しい作業でした。

紅茶を置いてくれるお店を探しています。(笑)

高校生目線の能代の好きなのところは？

西村：夏祭りが多いところが大好きです。日本の天空の不夜城も家族とよく話しています。若者が集まって楽しめるところが好きです。

山崎：風の松原が自慢です。静かですしサイクリングにもいいです。

菊地：きみまち阪がお気に入りです。最近できたカフェもハート型のカップで雰囲気もいいです。紅葉のシーズンも家族とよく行っています。熊谷：やっぱり夏祭り。それぞれの祭りを見るだけで参加している人たちの思いが伝わってきます。

家族と地域のことを話していますか？

西村：落合浜のことを話しました。とてもごみが散乱している状況なので学生ボランティアの



力でなんとかなってほしいです。

山崎：万が一の際にどう避難するかを話し合いました。あとは天空の不夜城の展示場についてあればおもしろいです。

菊地：少子高齢化について。小・中学校の子供たちがどんどん減っている。人口流出は難しい問題です。

熊谷：やっぱり人口問題です。地元の学校が統合になっていくので気になります。

能代(議会)に望むことは？

山崎：能代の議場でも議会をしてほしい。あの建物は将来観光にも役立つはずです。あとは大学があればうれしいです。

菊地：北高跡地が気になります。どのような活用がされるのか。

熊谷：能代駅前が寂しすぎます・・・。キヨスクも18時には閉店するし、せめてコンビニがあれば助かります。

西村：若者が必然的に集まるような施設が欲しいです。例えば大学など。大学生など、ちよつと上の世代を街で見かけるだけで元気につながると思います。

他にもいろいろなお話を伺うことができました。御協力ありがとうございました。

(取材：畠山一男、佐藤智一)